

ドーピン孤児院 第3期スクールスタート

先日訪問したドーピン孤児院ですが、第3期スクールが先週木曜日からスタートしました。

(ミャンマーでは、習い事は木曜日にはじめるのが良いという風習があります。)

元気な子供達が20名 パソコンのベーシックコースを学んでいます。

教えてくれる女性の講師は、とても熱意のある方で、パソコンだけでなく、希望する子供には会計(経理)の基礎も教えてくれています。

地元の有志の方のご協力に、心から感謝いたします。



視覚障がい者自立支援 『和』(なごみ)オープン

視覚障がい者自立支援のためのマッサージ店『和』(なごみ)が、ヤンゴン市内にオープンしました。

愛知を中心に、鍼灸接骨や医療マッサージ、介護支援などを展開されているハートメディカルグループさんが、ジャパンハートやJAMAHHAの協力を得ながらオープンしたものです。

Myanmarの視覚障がい者のスタッフ4名を雇用し、日本人の鍼灸師が院長を務めて、堂々のスタートです。

オープン初日には、ジャパンハート代表の吉岡先生もおみえになり、障がい者自立支援店舗第一号の船出をおあたかくご指導いただきました。

昨夜は、オープン3日目を無事終えての、スタッフ全員での決起宴会(??)でした(笑)

日本から指導のために来た伊藤部長が、スタッフひとり一人に、温かい言葉を贈り、スタッフ全員 士気が盛り上がりいました。

多くの視覚障がい者が、日本の高度な医療マッサージを身につけて、自立できるのを、JAMAHHAは応援していきます。ヤンゴンに滞在されている方、ヤンゴンに訪問する予定の方、是非 日本式マッサージ店『和』(なごみ)をご利用ください。

▶問い合わせ先

+95-9-430-86141(院長 蘆田(あした))



第19回 ミャンマースタディーツアー 参加者募集

[11月23日から29日ごろ予定] 詳細はFacebookまたは、ホームページをご覧ください。



将来の子供たちが共存共生のできる豊かで平和な世界へ



さらなる支援のために
私たちができること

今季の日本ミャンマー豊友会の 基本方針

- 1、認定NPO法人として認可を受け3年目、ミャンマーにおいてもNGO認可を受け活動を本格化させる。
- 2、現地事務所を維持し、事務局次長を置き、2015年の大変化を見据えながら、活動の準備をする。
- 3、「日本とミャンマーの子供たちの未来のために」という、会の基本方針の中期3年の具体案の進捗のプログラム化
- 4、教示を受けた先輩NPOから独立を果たし、独自活動を強化する
- 5、理事全員が方針を共有化し、組織的活動を重視する

を考え、採寸、製図、紙型、縫製、そして受注先あるいは最終販売先等の開発支援。

- 3) 公的支援を受けている孤児院には「重複」して支援をせず、お坊さん系の独立苦闘を重ねている孤児院に重点支援。例えばドーピンに大工左官教室。
- 4) 会社または個人、あるいは当NPO直営の事業体への孤児の訓練就業、並びに独立支援活動。
- 5) お仕事創造
- 6) 送り出し機関、受け入れ機関と提携し、日本への訓練生派遣。

奨学生貸付貸与及び給付

- 1) PAO族の高校生への奨学生基金。
- 2) 孤児院の子供たちへの高校、大学行きを支援するための奨学生。

孤児たちのための職業訓練所運営

- 1) ドーピンとトンテの孤児院にパソコン教室を設置したが、今後はネット接続等、より高次の段階に移れるよう支援者、講師陣と協議。
- 2) トンテのミシン教室の受講生の今後

保育園建設支援金

- 1) 今後はPAO族の部落(村人が遠くの畑に夫婦で働きに出るため)に毎年



ひとつづつ支援。同時に紙芝居、文具、絵本、ピアニカなど寄付。

- 2) 日本国側は会社と社員、お客様のご寄付をまとめCSR活動とし、末永く村人とのお付き合いを継続する。

インレー湖 辺環境 化活動

- 1) 子供たちを教育して、身の回りの環境に目を向け、ゴミ拾い活動を展開している先生方を支援してゆく。希望されたゴミ箱を贈る活動と諏訪湖や水俣の海の状況と、復活を告げる資料をおくる。

- 2) 湖の植物を活用してゴミ袋を作る仕事をつくろうとしている。

第19回 ミャンマースタディーツアー[2014年3月26日▶4月1日] レポート

スタディーツアーは、JAMAHHAが支援を行っているさまざまな事業の見学をしていただくツアーです。そして、現地の方々との交流を深めていくことでJAMAHHAの活動を体験としてご理解いただくものです。今回は、春休みということもあって小学生の方もご参加いただきました。

■今井 志くん(9歳)

第10回「日本マスタークイズ」
感想文

氏名 今井志帆 年齢 9才

成田からヤンゴンに着くとても暑か
った。
夕方に出て見ると昔の日本の車が走って
いた。(びっくりしました。)
バスに乗って夕食会場に向かい
ました。
夕食を食べる店の店員さんが日本語の
(にんげんあや)ありますところといふなどの
日本語をしゃべっていてすごいとおも
いました。
夕食の(ほん)は食べられましたけど
お刺身おいしくありました。
夕食の時に小学生の男の子がいて
いひひな言葉を聞いてびっくりしま
した。

第19回ミニマーステイツアーハンター

氏名 今井志
年齢 9才
学年(国) 3年(国)
マスクレ

マンホールに着いてバスに乗って孤児院にいたりゴミ袋をアピセントをして校長先生が喜んでいてとてもうれしかったです。

屋食会場に向かう時おみくじ引いて大吉が当りました。

大吉が当たってからおののあいさをしました。

食事の後船を見にいってネズミの穴などを見に行きました。

その後宝鏡島を見ました。

金色の山立でかべなどを見ていてすごいと思いました。

夕食の時に坂田さんという人ととても仲が良くなりました。

〈第10回キャンースタディーパー 感想文〉

氏名 今井志 年齢 9才

30(田代一郎君)

ヘーハー空港からバスで「ポート
乗りましたに向かってホートに乗って走って
いる日差しはすくなくてねむりやすくて
とてもかかたです

昼食は皆物なりましたか。
食べれました。

その次にホートで保育園へ行き小豆子
(福袋)ドリームをみひつけて
みひつきました。

夕食の(ほん)は食べれる物は少
ないけれどデザートはよってもお
いしかかたです。

夜はみんなでトランポリニヤアしててモ
集めかかたです。

【第1回ヨーマー・スタディーアー 感想文】

氏名 今井志 年齢 10歳

筆の印 ヤンゴン

まだヤンゴンに着いて屋食を食べました。

その屋食は日本食(少し味が)でいいでありますからアーバン。

その次の休みでやけを買ひに行きました。

ほのかなみたのは小さいハーフです。

夕食はおいしかったのですが食べる物が少なくて多かったです。

夜はまた休みでトランプをしました。



■今井 凜(12歳)

【1950年8月】
北条 今井 年齢 12才
（水）ヤンゴン

ヤンゴンに着て、銀行で替手からりて日本の夏の時の暖かい暑い氣がたまつ。食食場にむかうバスの中では、日本では見られない風景がたくさんありました。その中でも印象的のは、車が走っている道路に平気で人歩かいでいるところです。これにはほくほくひくりました。食食場に着き、最初は目にいたたのは、ガーベルニアの赤茶色で、この日夕食場は、見わたすがりゆくへと空き席書いてあります。さうって「今年の心地よい出来事」とか書かれていた。その下で「太ももを氣合いました」ですが、ヤンマーの冬菜葉落ちがベラベラでよく、英語で書きましたが、ほくほくは何を言つて、自分分かで書いたのです。英語を読めぬからついに取り除いて思ひました。けれどもよくて、日本では見られない氣がひきましたが、自分は日本で、日本でやっていることがヤマセミやせかんなどなど思ひました。

19歳のバースデーディナー・感想文
今年(末) 12月 12日
今年(末) バガン。/
ヤココンがバグの修理や替装がアゴララ前回機
でした。それがでかけて、また来るのが楽しみになりました。
バガンの市場では人波がけむるにぎやかに、環境
の人波が真夏や植物もあまり見ません。これながら
けむればいつでも涼しそうな気配で、ほんとうに涼しくて
「リサート」と言えてきました。真夏や植物をさす
めぐらぬのは大手でなければくはくはくはくはく
を飛ばすまでいました。自分なりにいい感じで
いるのを見て、ほんとうにほんとうにほんとうに
気持ちよく大きくなりました。初めてでこそ、お
印象に残っているのが「赤ちゃんとかわいいで
す。屋根にかけたり、かみかけたりするなど
いつも工夫がありました。赤ちゃんと並んでおお
ど、遊びをさせて貰いましたが、不甘くはない。
そしてバスに乗ろうとした時、水没でぬけてて
いる。カラカラの車からちまちまのお母さんかい
がいた。彼女はまだお水をあけたまま、かわあ
かじよくなっていたのかが、ミミズムがよく見えた
いいますお水をあかしてしまいました。



第1回目レポートステータスページ	提出書類
氏名 今井 滉	学年 12年
<u>題名(日)</u> サンエイ	
5月10日は、いろいろな観光スポットに行きました。	
最初に市内へ行った。湯島天神は、とても大きめの仏像があつ場所でした。仏像のまわりだけではなくて、とても多く、金剛界曼荼羅の仏像もありました。	
こんなに大きな仏像をうつろくたのかさをもんに感到しました。次にハチ公で有名な、ハチ公の利用は、小さめの仏像が多くありました。ほく力もさうして、以上で、大きかったです。次に会場では、清水の寺のランナーについて、三重塔の内部を見学が出来ました。そのことをちぎれいに記述したランナーは、技術がとても高く、いい音楽スタイルで、清水の寺を歌つてしまいながら走りました。走る姿勢が、とても美しい、走る人として、運んでくれている、とても、たいへんと思いました。日本は、これまでいかにもミランマーを駆けめぐらしたいと思っていました。	
<hr/> <hr/> <hr/>	

19時 ランチスタート(データー) 感想文
午後 深夜 年齢 12才

最初のこの日には、ジンバーハートの子供叢書
有り没(リームトル)に買きました。こではほく
のリティ・スミス(スミス)といいなうじたけ
で成功できました。たとえその後にハタキタ
一個(ひき)ました。ほくがすいなが思ったことは
たい焼きそば。た時に、一人一人が自分で作
さうしていたのである。その後にみんなでかか
の試合(ひきあ)い。じへては審査は分がいいけ
どくさんとヨニションがとあります。カカの
おかげで勝ち、3位にもちがい没有(な)みました。
おはりスポーツの力はすごいと思いました。わ
かる時はなまこいがだったです。

第三回 サンタクーラー 感想文
年令：中3 年級：12才

丁度のめ

今回の「ツアーキャンペーン」を見て、たことは、日本で
あたりまえな気がしてあたりましてはない。いわゆる
はうすおもてたかが、出でます。ミッキーではある
たかいが、温め少しの間で「オでないほどぐく
日本ではあらかじめおとづれあたりまえ」がいい
が、まあ、まあ、ミッキーの人たちもさうでも
さういたと思いまして。そして学生はやはりさせ、た
いにしてはいけないが思いました。

今回の「ツアーキャンペーン」が大成功を確
にしてくれたから、やさしくてかわいい。本当にありがとうございます。
またガードのモーくんも、さすが
よくできました。その人のおかげで、とても
喜びました。6年後またミッキーへ
行くとき、ガードはモーさんにおぼつかないよ
うに、おしゃべりをしてやねえから、ちょっと
あたたかくしておきました。今回の「ツアーキ
ャンペーン」が大成功したと思いまして。ありがとう
ございました。

■今井 運(12歳)

第15回はベン・スターでページ 読書文	
氏名	弓削 道
年齢	12才
性別	男
年齢(西)	ヤング
<p>まず、香港について日本との温度の差に ひっくりました。とても暑いでし まして何より夕食が独特の味 でした。中華料理に味は似ていました あと初めて外国人の子としゃべり 話す社会がとても大きくなりました。 もと来話をうまくやりたいと思いました。 他にもいろいろひっくりした事が たくさんありましたから日本に住んでる 事がとてもせいたくなと思いました。</p>	
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	

1日目は、ターゲットディーラーへお会いしました。
今日は、運送会社の担当者の方とお会いしました。
2日目は特に外国人とヒビキを語る英語で
しゃべる機会が多くて楽しかったです。
語か漸く通じてもまだ成感がありましたが、
からうございたいと思ひました。市長では、
日本と正反対で、遅くぐぐつては終わらぬ所
でした。これ見て、大手は日本ほどではない
が、カリスマでございたいと着想がわざ
日本もいかがなれど思ひました。日本は
とても愛想が國たがいと思ひました。
そしてバーグの意味や味に行き思ひ事は
シスターは、アーバンを大切にしているなど
思ひました。あと、シスターは歴史を深く人
たがい思ひました。そして何よりも、シスターの
仕事は、生き残り、死んで、死んで生きる
人生がいたしました。僕は最後の運動に入づけ
バスから降った時に脱いだトロコのちぢれで
そのままかぶれて水と夢をしてい
ました。バスにわざわざ来てでも水と夢をしてい
たので、僕はさあまでさうおもわね

第1回「ペーパーダイアリー」歴史文	
年月日	年月日
昭和(木)	ハケン No.2
水をあけました。初物の赤ちゃんと お母さんの顔の表情が今でもわきあがめません。 お水通し思は世人は助命合で生きて いくという争い命の大切さを学びました。	
16(金) マンガー	No.3
また小学校の方へ行きました。保育園を建る所に 木のぼりを打つ時に、日本とシンガポールの文化交流 はむかしいと思いました。そこで、お墓へ行き 戦争へ行く日本人の事を考ると とても寂しくて嘆息が止みませんでした。 やはり戦争は、いかないと思いました。 そして特に思ひた事は、家庭訪問の事です。 優しくして下さった、三の川さんは人の心の豊かさ に感動しました。やはり一人一人はいい 印象だなと思いました。本当に自分は いろいろな人に思われて生きているんだなと わかった気がしました。 お食事夕食の席のたんじょうに指命され	

